

～～第8746回～～

飯田線秘境駅散策

～R1. 8. 25～

6:00に参加者7名のうち6名が浜北Pに集合し、車2台で新東名、三遠南信道路を経て飯田線三河川合駅に到着した。ここでもう1名合流し、飯田線に乗車した。夏休み期間の日曜日とあって思っていた以上の人が乗っていた。秘境駅ブームの影響かもしれない。以前皇太子妃の名字と同じ漢字で有名になった駅を通り、数々の無人駅を通過して、温田(ぬくた)駅で下車した。ひなびた駅を想像していたが、病院、床屋、警察署などがあるこの地域では一番の繁華街?のように思えた。天竜川に架かる南宮大橋という立派な近代的な吊り橋を渡った。そこから右に急な舗装道を喘ぎながら登って行った。日差しは強く、山の木々の日陰を探しながら登って行った。所々立派な家屋が点在し、どこまでも明るく暑かった。農家の池にはきれいな蓮の花が咲き、気をなごませてくれた。そうこうしていると平石農場のひまわり畑に着いた。3～4組の家族連れが見学していた。見渡す限りひまわりが咲き、その間を散策できるよう遊歩道がつけてあった。今が最も盛りとのこと、ラッキーであった。管理人の方に聞くと、ひまわりの種から油を抽出して製品にしているとのこと、春は菜の花を咲かせ、それを肥やしにした後ひまわりの種を蒔くとのことであった。春は一面菜の花畑になり、それなりに美しい景観だそう。しばらくひまわり畑の景観を楽しんだ後、元来た道を下り温田駅に着いた。そこからまた飯田線に乗り天竜峡駅で下車した。天竜下りの拠点として賑やかであった。駅舎で昼弁当を食べた後、天竜峡周辺を散策した。今度は豊橋方面に乗車して、為栗(してくり)駅で下車した。駅前には直ぐ天竜川が迫り、周辺には人は住んでいない全くの秘境駅であった。駅前には人が通れる道しかなく、200m先には、これも人しか通れない吊り橋が架かっていた。ここは、天竜川が大きく蛇行して、特殊な景観を見せていた。吊り橋を渡って林の中を行った。途中広い道路に出て進み、左に山を登って行った。つづら折り道は急であった。山の頂上付近には人家が数件あった。ここで天竜川の蛇行の景観を見ようとしたが、樹木に遮られ見えなかった。やむなく元来た道を引き返した。途中、車道を外れ、人ひとり通れる山道を経由して為栗駅に帰ることにした。しばらく踏み跡がはっきりしていたが、途中から踏み跡は薄くなり、やむをえなく天竜川の川岸に降りた。川の水は冷たく奇麗であった。豊橋行きの電車には時間があつたので、そこで水と戯れ、待つことにした。時間が来たので吊り橋を渡って為栗駅に行き、豊橋行き電車に乗車し、車を停めてあつた三河川合駅に帰ってきた。そして浜北への帰途に着いた。

参加者：7名

天気：晴れ

地図：三河大谷・満島・山田川内

コースタイム：浜北P 600＝三河川合駅 715++温田駅 845…平石農場 1000…温田駅 1145++天竜峡駅 1207…天竜峡周辺散策…天竜峡駅 1250++為栗駅 1318…月ヶ島部落

1400…為栗駅 1539++三河川合駅 1700=浜北 P1800

記録：浜松支部 T. H